

# 2024. 10 月 女性チャレンジ応援拠点だより



## コラム 「微妙な変化に気づく」

『暑さ寒さも彼岸まで』、先月秋分の日からようやく秋の空気がかわってきました。待ちに待った秋ですが、夏の疲れが出るのもこの時期。適度な運動、バランスのよい食事、そして十分な睡眠をとって、活動的な秋冬にしていきましょう。ちなみに10月1日は国際音楽の日でした。好きな音楽を聴くこともお勧めです。映画『パーソナル・ソング』(2014年アメリカ)に、介護施設の老人たちが若い頃に好きだった曲を聴いて、イキイキと歌い出すシーンがあります。音楽も活力になりますね。

さて10月の『夢をカタチにみちびくコミュニケーション』は、仕事上でもありがちな「いき違い」や「くい違い」について考えてみましょう。意識や理解のズレにあたるものですが、結果的に何らかの問題を引き起こす、害を及ぼすのが常です。そもそもコミュニケーションにはギャップが付きものですから、どんな場合も細心の注意が必要なのは言うまでもありません。実例を紹介しながら、具体的なアプローチを考えてみましょう。題して、「微妙な変化に気づく」。

Aさんには“あれに気づいてよかった…”という場面・局面が何度かあったそうです。その極めつけの一つあげてもらいました。それは、大事な協働先の責任者との打ち合わせでのこと。前回の打ち合わせにそって用意した資料を説明していたとき、ある瞬間、相手の表情が微妙に変わり、“うん？ それは違うんじゃないか…”という風な感じに見えたそうです。ただ、あまりに一瞬のことなので、話を止めるほどでもなく、先方も遮ることがなかったのでそのまま続け、次回にむけた段取りも話し合い、打合せを終えて先方の事業所を出ました。

外に出て、先ほどまでの打合せをふり振り返りながらの帰道、にわかにあの表情が頭に浮かんできました。何だろう、なぜだろう。打合せ内容には先方も納得し、異論はなかった。だから気にすることもないのかもしれないけど…。でもここでスルーしてはいけない、せっかく気になったのだから

と自分に言い聞かせ、事業所へ戻ると、「打合せメモ」という標題で、本日の打ち合わせ内容を一目で確認できる文面をまとめ、先方へメール送信したそうです。

このメールの第一のねらいは、もし違う点があれば、先方に指摘してもらうこと。先方がそのアクションをとりやすいよう、文面全体の書き方には気をつかったそうです。追ってすぐに問題なしの返信が届いたそうで、ホッとしたとか。もし実際に相違点があったなら、いずれ直面する「いき違い」・「くい違い」を未然に防ぐことになったわけで、おかげでAさんはその後も先方と長いお付き合いが続いているそうです。

『ハインリッヒの法則』や『バードの法則』(注)は小さなハットすることの積み重なりがいずれ大きな問題や事故につながるとして、「問題点を事前に察知できるように、体内センサーを働かせる必要がある」と説いています。察知とは「おしはかって知ること、それと気づくこと」。コミュニケーションにおいても、仕事と人間関係の円滑な運びのためにも微妙な変化を察知するチカラは重要。先方が表情を変えたように見えたのはAさんの気のせいだったかもしれませんが、それでも、自身の察知をスルーしなかったことが「防災」ならぬ、「防”害”」につながったと言えるのではないのでしょうか。

と、今回はここまでとして、「察知」や「感知」は今のところ未だ人間ならではのチカラ、微妙な変化を見たり感じたりした時には、しっかり注目してみましょう。「防”害”」だけでなく、「チャンス」を引き寄せるかもしれません。「女性チャレンジ応援拠点」スタッフも察知、感知のチカラに磨きをかけて、みなさんにチャンス多かれと、応援していきます。ご利用をお待ちしております。

(※) 重大事故の背景には多数の危険性(ヒヤリハット)があることを示す法則

## 女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4 階  
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp

運営：大阪市立男女共同参画センター中央館  
(電話 06-6770-7200 FAX 06-6770-7705)

### ※ 開室日

※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休室

火	水	木	金	土
10:30 ? 12:30	18:00 ? 20:00	13:00 ? 15:00	10:30 ? 12:30	13:00 ? 15:00

※ 開室時間内は自由に入出入りいただけます。  
お気軽にお立ち寄りください。

